

第4回広島県中学生記録会 競技注意事項

- 1 この大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。
- 2 競技規則第162条に基づき、一度の不正スタートでその競技者は失格となる。
- 3 競技規則第143条のシューズの厚さ規定に基づき、不正シューズで出走した選手は失格とする。
(各所属で事前に確認しておくこと。なお当日、確認用の測定器を招集場に設置する。)
- 4 トラック種目は、全てタイムレースとする。
- 5 フィールド種目(走幅跳・砲丸投)の試技は全て3回とする。
- 6 走高跳/棒高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。
なお、当日の天候・選手の状態によって変更する場合がある。
走高跳 男子 1m35-40-45-50-55-60-65 (以降3cmずつアップ)
女子 1m20-25-30-35-40-43 (以降3cmずつアップ)
棒高跳 1m80から10cmずつアップ
- 7 男女800mのスタート方法は、1レーン2人制として第2コーナー出口までセパレートとする。
レーン番号内側から外側に、その後外側から内側に位置する。
- 8 競技に使用するスパイクピンは、全天候型の9mm以下のものを使用すること。
(走高跳は12mm以下)
- 9 アスリートビブス(所属名ゼッケン)はチーム名の入ったものを各自で用意し、競技者は必ず胸部・背部両方につけること。(跳躍種目については胸部・背部どちらかでも可)
なお、男女1,500m、男子3,000mについては、別に胸用ナンバーカードを招集場にて配付するので、それをつけること。背面はアスリートビブス(所属名ゼッケン)でよい。
トラック種目については腰ナンバーシールを配付するので、スタートまでに右腰に貼り付けること。(中長距離種目は腰ナンバーシールが途中剥がれないように安全ピンで留めること)
競技後、腰ナンバーシールはゴミとして各自・各チームにおいて持ち帰ること。
- 10 団体受付は、競技場正面入口ロビーで行う。必ず引率指導者が受付をし、「申し込み一覧表」を提出する。団体受付は、両日とも午前中(7:30~開始)とする。
両日とも、朝の競技運営に関わる打ち合わせ会を幅跳びピット前にて、8:15より行う。
(競技役員、参加団体の代表等は必ず参加のこと)
- 11 2種目同時に出場する選手は、「多種目同時出場届」を招集場に提出するものとする。
用紙は実施要項内および招集場(雨天練習場)に置く。
- 12 あらかじめ棄権する者は、「棄権届」を提出すること。用紙は招集場に置く。
- 13 参加チームは、1名以上の競技役員を出し運営の手伝いをする。
- 14 リレーのマーカータープや安全ピンについても各自、各学校・チームで準備すること。
- 15 練習は多目的グラウンドを使用すること。ただし開場から8:30までは競技場内を使用可能。
- 16 ◎リレーの招集については、女子は8時20分、男子は8時40分までに全チーム提出すること。
オーダー用紙は、招集場に置いてある。6名の記載選手以外の選手が出場する場合は「申し込み一覧表」のコピーに該当する選手を赤丸で囲み添付提出すること。
- 17 競技終了後、競技者は定められた通路を通って帰ること。正面スタンド前は通らない。
- 18 トラック及びフィールド内には、出場競技者・役員及び補助員以外は入らないこと。
応援はスタンド内および芝生スタンド(立ち入り禁止エリアを設ける場合あり)とし、大会運営に支障をきたすことがないように注意すること。

- 19 ゴミは各自、各学校・チームにおいて、責任持って持ち帰ること。
- 20 貴重品は、紛失しないように各自、各学校・チームで責任を持って管理すること。
- 21 各学校・チームの責任者は、出場選手の会場におけるマナー（応援の仕方を含む）、健康管理、交通安全なども指導すること。
- 22 セパレートレーンを使用しての競技の際、ゴール後レーンに沿ってカーブするよう各学校・チームで事前に指導すること。
- 23 競技場内、フィールド種目のピット内等にデジカメやタブレット端末などの電子機器を持ち込むではない。
- 24 **招集から競技への選手の動き**

- **トラック種目は招集場（雨天練習場）に招集開始時刻までに集合し点呼を受ける。**
- **フィールド種目の招集場所は現地とし、招集開始時刻までに集合し点呼を受ける。**
- **競技用シューズの規格に不安がある選手は、計測器で計測してから点検を受ける。**
- **トラック種目は腰ナンバーを受け取る。（中長距離はナンバーシールを安全ピンでとめる事）
男女 1,500m、男子 3,000mについては胸用ナンバーカードも受け取る。**
- **競技役員の指示により、各自でスタート地点へ移動**
- **招集を受けていない選手は棄権とみなす。
ただし 2 種目を兼ねて参加する選手は、「多種目同時出場届」を提出、トラック種目優先として、フィールド種目の場所に行き、その旨をフィールド競技役員に告げておくこと。**

第 60 回織田幹雄記念国際陸上競技大会について（確認）

第 60 回織田幹雄記念国際陸上競技大会中学生種目の予選種目と選出数

<男子>

男子 3,000m（上位 28 名） → 当日は 1 組（28 名）で競技

男子 400mR（上位 24 チーム） → 当日は 3 組（8 チーム×3 組）で競技

<女子>

女子 1,500m（上位 30 名） → 当日は 2 組（15 名×2 組）で競技

男子 400mR（上位 24 チーム） → 当日は 3 組（8 チーム×3 組）で競技

※記録会当日、該当種目終了後に、記録の整理・確認を行い、織田陸上への出場権を得た選手ならびにリレーチームを放送にてお知らせします。出場権を得られた学校・クラブチームは、選手に参加・不参加を確認した上で、大会総務の部屋に推薦書等の参加申込み書類を必ず受け取りに来てください。

※織田陸上への参加出場権を得られた選手やチームで、どうしても大会当日に参加できないことが分かっている場合は、当日、すぐに総務員にお伝えください。また後日、参加が困難になった場合も、「中学生種目担当者（広島市伴中学校：岡先生）」にご連絡ください。
場合によっては、繰り上げ出場の調整を行うことが出てきますので、ご協力をお願いします。